

## 留学だより No. 4 (帰国編)

みなさん、こんにちは。先月留学から帰ってきました。ここでは、留学終盤の様子について紹介したいと思います。

私自身はキリスト教徒ではありませんが、ほぼ毎週ファミリーと教会に通い、今までしたことのない体験をすることができました。神父さんはとても面白くユーモアのある人で、毎週ジョークを飛ばしていました。4月1日のイースターの日には、教会でキリストの磔刑や民衆について学び、理解を深めることができました。家でも映画をみるなどし、思想や歴史としてキリスト教にとっても興味が出ました。



春休み中にはホストシスターが興味のあるという Purdue University に行きました。とても大きな大学で、学生数もとても多く、驚きました。設備が整っていて、すごく良い大学でした。理系に強い学校で、科学系学部はアメリカ国内でも上位にランクインしています。イベントが多く、楽しそうであるとともに、勉強にも集中できる環境があり、キャンパスも過ごしやすそうです。また、学部担当の方とその学部に所属する学生と、家族で話す機会もあり、生徒に合わせて相談ができるのも良かったです。



とても光栄なことに、先生が科目ごとに優秀で好奇心のある生徒を表彰する Departmental Award を受賞しました。私が受賞した教科は、Graphic Design という Art の科目の一つです。正直私は美術が得意ではないのですが、コンピューターを使ってデザインするこの科目はとても楽しかったので、選ばれてとても嬉しかったです。ホストシスターも政治分野で受賞したので、ともに表彰式に出席しました。

もともと読書が好きなので、向こうでは洋書に挑戦しました。図書館では季節ごとに古本市が開かれ、ペーパーバックが一冊0.5ドル、ハードカバーは一冊1ドルで手に入れることができます。私は合計で19冊も買ってしまい、持ち帰る荷物が大量に増えました。まだ半分しか読んでいないので、これから張り切って読みたいと思います。



学校が終わった後の休みには、ファミリーにヘンリーフォード博物館に連れて行ってもらいました。博物館には新旧様々な乗り物が展示されています。また、時代と共に変化した家や娯楽の展示もあります。大統領が乗っていた車なども展示されていました。

博物館の外では、少し前の時代の村が再現されていて、実際に農業を行っている人がいたり、昔のフォードモデルTに乗れたりという様子です。建物は、教会や学校、裁判所、郵便局、帽子屋、工房などがありました。また、ライト兄弟の家(そっくりそのまま他州から移設されました)や、エジソンの研究所もあります。



この博物館+ビレッジ(村)はアメリカ合衆国最大級の博物館複合施設です！

アメリカに留学したいと思ったきっかけは中学1年の時に英検で米国大使賞をとったことでした。アメリカで日常的な会話のスキル、英語のアウトプットのスキルを身につけたらと思い、留学を決意しました。十ヶ月の留学を終えてみて、まだスキルに自信は持てませんが、それ以外で予想以上に多くのことを学ぶことができ、楽しいことも辛いことも詰まったとても充実した生活を送ることができました。支えてくださった方々全員に感謝し、これからも向上心を忘れず精一杯努力したいと思います。